

【2026 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

科目名		ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
ソーシャルワーク演習 (専門) c			選択	2	3	後期
担当教員		研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
萩原 学		講師控室	kyoumu		授業終了後に質問等受付	
授業の目的・概要	<p>&lt;目的&gt;ソーシャルワークの価値・知識・技術、および倫理に基づいた相談援助の実践力を、演習を通して具体的な課題に能動的に取り組みソーシャルワークの展開過程を理解し、習得することを目的とする。地域特性を適切に把握し、マイクロ・メゾ・マクロでのソーシャルワーク視点を得る。</p> <p>&lt;概要&gt;教科書や資料を使用して、グループワーク、ロールプレイ、ディスカッション等を行い、相談援助の実践の体験をして感じたこと、考えたことを言語化、文章化し、発表することを通じて、ソーシャルワークの展開過程を理解し、実践する能力を習得できるように授業を進める。</p>					
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習)	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習	<input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実技	<input type="checkbox"/> PBL <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク	
学習上の助言	本講ではソーシャルワークの価値を身につけるための援助技術を習得する目的から、その基盤となるソーシャルワークのグローバル定義、ソーシャルワークの定義 (ソーシャルワーカー連盟)、パイステックの 7 原則などを復習しておくことが望ましい。					
教科書	最新 社会福祉士養成講座7 ソーシャルワーク演習 [社会専門] /編: 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟/中央法規出版					
参考書	なし					
外部教材	なし					
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針		
①	ケースワーク、グループワーク、コミュニティワークの支援技術を習得できる。			HSU(3)(4)、HC(1)(2)		
②	事例を通じて基礎基盤となる価値・知識・技術・原則を学ぶことができる。			HSU(1)(2)、HC(1)(2)(6)		
③	支援の開始から終結の相談援助プロセスを理解し、多職種連携の必要性を身につける。			HSU(2)(3)(4)、HC(1)(2)(6)		
授 業 計 画						
回	学習内容等	授業の方法		学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーション (本科目の意義、受講時の約束、講義の進め方、成績評価他) を行う。演習・グループワークの効果的学習方法について説明を行う。	講義		シラバスを精読してくる。		2
2	地域福祉に係る事例検討 (1) 個別事例からマクロな課題を見出す。	演習 グループワーク		教科書の該当章を精読する。		4
3	地域福祉に係る事例検討 (2) 地域アセスメント①について学ぶ。	演習 グループワーク		教科書の該当章を精読する。		4
4	地域福祉に係る事例検討 (3) 地域アセスメント②について学ぶ。	演習 グループワーク		教科書の該当章を精読する。		4
5	地域福祉に係る事例検討 (4) 地域アセスメント③について学ぶ。	演習 グループワーク		教科書の該当章を精読する。		4
6	地域福祉に係る事例検討 (5) 地域福祉計画①について学ぶ。	演習 グループワーク		教科書の該当章を精読する。		4
7	地域福祉に係る事例検討 (6) 地域福祉計画②について学ぶ。	演習 グループワーク		教科書の該当章を精読する。		4
8	地域福祉に係る事例検討 (7) 地域福祉計画③について学ぶ。	演習 ディスカッション		教科書の該当章を精読する。		4
9	地域福祉に係る事例検討 (8) 組織化①について学ぶ。	演習 グループワーク		教科書の該当章を精読する。		4
10	地域福祉に係る事例検討 (9) 組織化②について学ぶ。	演習 グループワーク		教科書の該当章を精読する。		4
11	地域福祉に係る事例検討 (10) 社会資源の活用・調整・開発①について学ぶ。	演習 グループワーク		教科書の該当章を精読する。		4
12	地域福祉に係る事例検討 (11) 社会資源の活用・調整・開発②について学ぶ。	演習 グループワーク		教科書の該当章を精読する。		4
13	地域福祉に係る事例検討 (12) サービスの評価①について学ぶ。	演習 グループワーク		教科書の該当章を精読する。		4
14	地域福祉に係る事例検討 (13) サービスの評価②について学ぶ。	演習 グループワーク		教科書の該当章を精読する。		4
15	地域福祉に係る事例検討 (14) サービスの評価③について学ぶ。	演習 ディスカッション		教科書の該当章を精読する。		6
試						

【2026 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

		達成度評価					
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		0	0	50	0	50	100
総合力指標	知識・技術力	0	0	0	0	5	5
	思考・推論・創造する力	0	0	10	0	5	15
	協調性・リーダーシップ	0	0	10	0	10	20
	発表・表現伝達する力	0	0	10	0	5	15
	コミュニケーション力	0	0	10	0	10	20
	取組みの姿勢・意欲	0	0	10	0	10	20
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	5	5
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①	✓	グループワークにおいて成果発表を実施するが、発表者のみならず他のメンバーにおいてもそれぞれのグループ内での役割を自覚し、グループワークの進捗に積極的に参加できているかを総合的に評価する。	成果発表後に、どのような理解をしたのか教員から他のメンバーにも質問をする。			
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	課題への取組み状況やグループワークへの参加姿勢などを評価する。	質問については、授業にて共有する。			
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	なし						
教員の実務経験	社会福祉士として社会福祉協議会にて、個別支援から地域支援までの 22 年の実務経験。現在、地域共生社会の実現を目指し障害児通所支援事業を経営、児童指導員としての実務も有する。						
実践的授業の内容	教科書とシラバスに沿って、教員が実践してきた事例（個人、団体等の特定ができないよう加工）を用いたりして、ソーシャルワークの基本及び展開過程について、分かりやすく説明をすることで、学生が科目内容について具体的なイメージをもって理解が深まるように工夫をして授業を進める。						
そ の 他	<p>【履修についての条件】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「ソーシャルワーク演習」を履修し、単位を取得していること。</li> <li>社会福祉士国家試験受験希望者は必ず履修すること。</li> <li>毎回の授業で PC を使用するため必ず持参すること。</li> </ul> <p>【受講する際の注意事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教員の指示に従わない行動をとった場合には受講を認めないことがある。その場合、授業は欠席として取り扱う。</li> <li>生成 AI の使用については、課題に応じて随時教員より使用/不使用の指示をする。</li> </ul>						